

Ⅱ 履修の手引き

Ⅰ
短・学修の手引き

Ⅱ
短・履修の手引き

Ⅲ
学籍について

Ⅳ
専攻科
学修・履修の手引き

1 履修の方法について

(1) 本学の教育課程

私立大学には創設者の建学の理想があります。本学では、その理想を実現するため、短期大学のディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）を定め、それに基づいて各学科のディプロマ・ポリシーを設定して、特色ある教育活動を行っています。

それぞれの学科では、上記の方針に基づいて、さまざまな授業科目を開講しており、また、授業科目を段階的・系統的に分類し整理した教育課程(カリキュラム)を作成しています。

本学の教育課程は、学修の区分として①共通教育科目、②専門教育科目の2つの領域が設定されています。学生は、それぞれの領域にわたって、定められた数の単位を履修して、必修科目を習得し、卒業に必要な単位(卒業要件単位)を充足しなければなりません。これを一覧表にしてまとめて示したものが教育課程表です。

(2) 共通教育科目

共通教育科目は、「比治山ベーシック科目」と「教養教育科目」とで編成されています。教育課程表に基づいて履修してください。

「比治山ベーシック科目」

「スタートアップ」「キャリア形成」「コミュニケーションリテラシー(日本語・外国語・情報)」の3分野からなり、本学の卒業生として一定水準のスキルや能力を身に付けることをねらいとする科目が設定されています。分野ごとに必修科目と選択科目とに分けられていますので留意してください。

「教養教育科目」

教養教育科目は、幅広い分野にまたがる内容をPBL(課題解決型学習)形式を中心とした方法により実践的に学ぶ文理融合型の「学際総合科目」、さまざまな学問分野を横断的に学ぶことで自らの好奇心を掘り起こし、社会と積極的に関わるための多様な視点を獲得するための「教養科目」、および教員免許状・保育士資格等の取得のための「資格関係科目」で構成されています。

領域ごとに履修すべき単位数が定められています。

履修に当たっては、その科目構成や開講時期を理解した上で、自己の学修にとって有益となるようによく考えて選択してください。

また、授業科目によっては、履修定員が定められている科目(事前登録科目)があり、履修定員を超えた場合は、コンピュータによる抽選を行うことがあります。

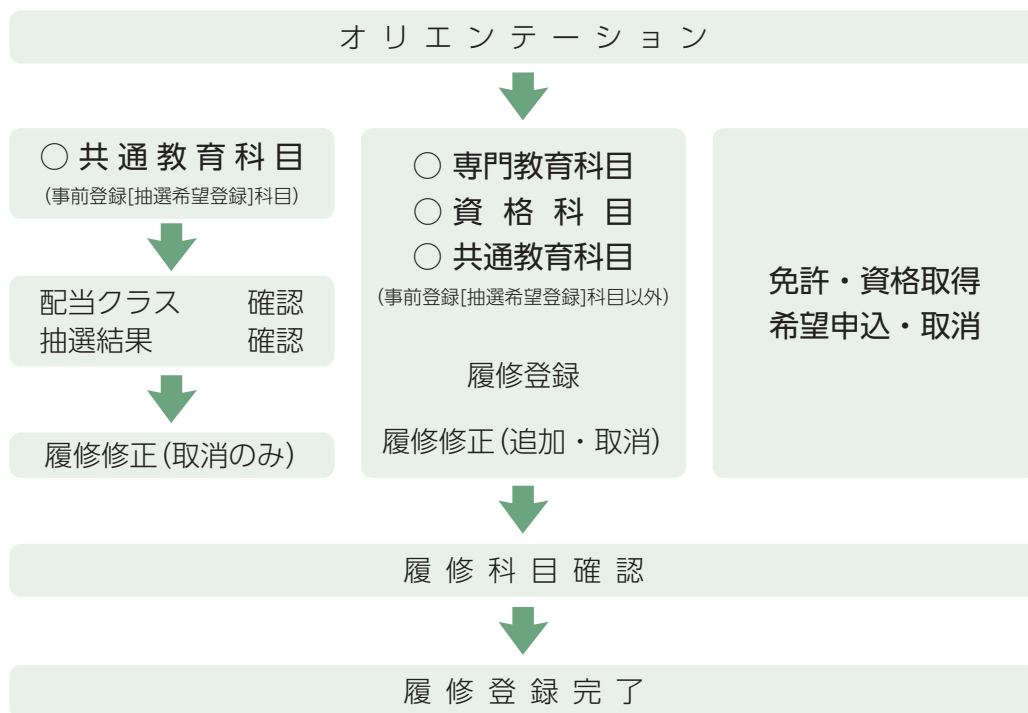
(3) 専門教育科目

学科ごとにその専門に応じて設けられた科目です。特長を生かした専門性の高い科目を系統的に学ぶことができます。専門教育科目の履修は、年次ごとに配当された科目を計画的に選択することになります。学科ごとにそれぞれ特色がありますので、説明をよく聞き具体的な科目を決めてください。

2 履修登録について

(1) 履修登録の流れ

履修登録・確認は、Hi!wayシステム(Web)により行います。
Hi!wayシステムは、学外のパソコンから利用することができます。詳細は「Hi!way・Google Workspace利用の手引き」で確認してください。



(2) 履修登録

履修登録については、オリエンテーションで各学科の教学委員から説明があります。
履修登録はHi!wayシステムにより行います。詳細については「履修の手引き」を参照してください。

(3) 再履修

指定されたセメスターに単位が修得できなかった場合は、次のセメスター以降に再び授業科目を履修することができます。これを再履修といいます。

(4) 他学科科目等の履修

HOPE(Hijiyama Overseas Program & Experience)科目を含め、他学科(所属する学科以外の学科)が提供した授業科目を履修することができます。提供科目は各学科の教育課程表に記載してあります。修得した単位は、(6)、(7)などと合わせて卒業要件科目の単位に含めることができます。

(5) 教職課程に関連する科目の履修

教育職員免許状の取得を希望する学生のために教職課程に関連する科目を開講しています。

総合生活デザイン学科・美術科の学生で、教育職員免許状の取得を希望しない者も、教職課程に関連する科目を履修することができます。ただし、教育実習指導、教育実習Ⅰ～Ⅱ、家庭科教育法、美術科教育法、教職実践演習(中学校)、介護等体験指導、学校支援ボランティアは履修できません。

(6) 比治山大学での特別聴講

比治山大学短期大学部の正規生が教育上有益と認められた場合は、比治山大学での授業科目を履修し、単位認定を受けることができます。この場合の学生は特別聴講学生として扱います。履修可能な授業科目、日程等は掲示でお知らせします。修得した単位は、(4)、(7)などと合わせて卒業要件単位に含めることができます。

(7) 他大学での受講

本学を含む教育ネットワーク中国の単位互換協定を締結している大学・短期大学の学生はそれぞれ相互に所属外の大学の授業科目を履修し、単位認定を受けることができます。この場合の学生は単位互換履修生として扱います。履修可能な授業科目、日程等は掲示でお知らせします。修得した単位は、(4)、(6)などと合わせて卒業要件単位に含めることができます。(2年次生は、原則として後期開講科目及び通年科目には出願できません。)

<本学と協定締結をしている外国の大学に留学する場合>

教育上有益と認められた場合は、留学先で修得した単位のうち、半期24単位を上限に本学の単位として認定することができます。留学を希望する学生にはHOPE(Hijiyama Overseas Program & Experience)ハンドブックを学生支援課で配付しています。ただし、比治山大学短期大学部学則第18条の規定に定める30単位を上限とします。

3 教育課程(カリキュラム・カリキュラムマップ・ナンバリング)について

(1) 共通教育科目

I. 比治山ベーシック科目について

「比治山ベーシック科目」は、本学の卒業生として一定水準のスキルや能力を身に付けることをねらいとしています。

(1) スタートアップ

高校から大学へ、生徒から学生へ、「学び」の円滑な移行を意図しています。そのために、(1)建学の精神や教育理念を理解し、学生同士あるいは学生と教員との信頼関係を築きながら本学で学ぶ意欲を持つこと、(2)大学で学ぶための学修の基礎的な技術・方法を身に付けること、(3)卒業後の就職あるいは進学への意識を高めることを目的としています。

(2) キャリア形成

「一人の人間として人生をいかに生きるか」という生涯にわたる人生設計を考えることを目的としています。一人ひとりが自分の将来を視野に入れ、社会人として活躍するための目標を設定します。個人ワークやグループワークを通し自己理解を深めながら、自発的に卒業後の進路を選択し、社会的に自立できる力を育みます。

(3) コミュニケーションリテラシー

リテラシーとは、「読み書き能力」という意味です。急速な情報化、国際化を特徴とする現代社会においては、従来の「言語」によるリテラシーは当然ながら、コンピュータを中心とした情報機器を活用するためのリテラシーが求められています。本学では、「日本語」「外国語」「情報」の3つのスキルを「コミュニケーションリテラシー」と位置付けて、大学や社会で通用する水準まで<読む><書く><聞く><話す>能力を高めることを目指します。

①日本語

現代社会の一員として必要とされる日本語能力を確実に身に付けることを目的としています。少人数の演習形式により、日本語表現の基本的な知識を学ぶとともに、小論文やレポートなどの文章表現、スピーチや発表、ディスカッションなどの口頭表現の基本を学びます。「日本語リテラシー」(1年前期)を必修科目として、その習熟度や学修の必要性に応じてきめ細かく指導を行います。

②外国語

国際化の進む現代社会の一員として、自発的かつ創造的に外国語を運用できる能力の育成を目的としています。英語では、習熟度別クラス編成により、英語の基礎的な能力を身に付けます。「英語リテラシー」(1年前期)を必修科目として、学修の必要性に応じてきめ細かく指導を行います。さらに、英会話ではネイティブを中心としたスタッフによって実践的な英語力を高めます。また、中国語と韓国語では、基礎的な運用能力養成に加えて、文化的な側面の学修など、国際社会で求められる知識を養います。

③情報

本学の情報利用環境になじみ、授業や自学自習・資格取得のために必要な情報活用能力を身に付けます。「情報リテラシー」(1年前期)および「データサイエンス入門」(1年後期)を必修科目として、「情報収集力」や「論理的思考力」などを一定レベルまで高める学修プログラムによって、大学生活でそして社会人になっても不可欠な情報関連の基礎技能を修得します。

II. 教養教育科目について

教養教育科目は、分野・学科を超えた学びで人間力を高め、特定の分野に偏らない広い視野を持った人材を育成することを目的としています。大学・短期大学部の教員が授業を担当していますので、学科の枠および専門分野を超えて学修できます。

教養教育科目は、「学際総合科目」、「教養科目」、および「資格関係科目」で構成されています。

教養教育科目の特色は、次のようにまとめられます。

- (1)「学際総合科目」は、幅広い分野にまたがる内容をPBL(課題解決型学習)形式を中心とした方法により実践的に学ぶ文理融合型の科目です。オムニバス方式やチームティーチングなどによって、専門分野の異なる複数の教員が多方面からアプローチします。
- (2)「教養科目」は、それぞれの学問分野における学びの喜び・楽しさへの導入とともに、他の分野とのつながりを意識しつつさまざまな学問分野を横断的に学ぶことで、自らの好奇心を掘り起こし、社会と積極的に関わるための多様な視点を獲得することをめざす科目です。
- (3)「資格関係科目」は、教員免許状・保育士資格等の取得に必要な科目です。
- (4)いずれもアクティブ・ラーニング(主体的・対話的で深い学び)を重視し、学生が主体的に参画できる学生参加・体験型の授業方法を積極的に導入しています。学びの場も、教室だけに限らず、大学の外へ飛び出して、施設見学、制作・創作活動、フィールドワークなどを行います。
- (5)大学生・短大生がともに学び合い、学部・学科を超えた多様な考え方との対話を通して自身の興味・関心を掘り下げることができます。また、現代社会との接点を意識し、生涯にわたって学び続けるための基盤とすることをめざします。

授業科目区分		授業科目	授業方法	授業すべき時間数	主要授業科目	単位数		開講時期				卒業要件
								1年次		2年次		
						必修	選択	前期	後期	前期	後期	
比治山ベシック科目	スタートアップ	初年次セミナー	演習	30	○	2		○				必修2単位
	キャリア形成	キャリアデザイン入門	講義	30	○	2			○			必修を含め 2単位以上
		インターンシップA	実習	45			1		○			
		インターンシップB	実習	90			2		○			
	コミュニケーションリテラシー	日本語	日本語リテラシー	演習	30	○	1		○			必修を含め 1単位以上
			日本語表現	演習	30		1		○			
		外国語	英語リテラシー	演習	30	○	1		○			必修を含め 1単位以上
			英語	演習	30		1		○			
			英会話Ⅰ	演習	30		1		○			
			英会話Ⅱ	演習	30		1		○			
			中国語Ⅰ	演習	30		1		○			
			中国語Ⅱ	演習	30		1		○			
			韓国語Ⅰ	演習	30		1		○			
			韓国語Ⅱ	演習	30		1		○			
		情報	情報リテラシー	演習	30	○	1		○			必修を含め 3単位以上
			データサイエンス入門	演習	30	○	2			○		
			データサイエンス演習	演習	30			2		○		
プログラミング基礎			演習	30			2			○		
教養教育科目	学際総合科目	人間と生命(比治山学)	講義	30	○	2		*	*			必修を含め 4単位以上
		ひろしま学	講義	30			2	*	*			
		複合領域研究	講義	60			4				*	
	教養科目	言語学	講義	30			2	*	*			
		文学	講義	30			2	*	*			
		歴史学	講義	30			2	*	*			
		哲学	講義	30			2	*	*			
		芸術学	講義	30			2	*	*			
		教育学	講義	30			2	*	*			
		経営学	講義	30			2	*	*			
		社会学	講義	30			2	*	*			
		観光学	講義	30			2	*	*			
		心理学	講義	30			2	*	*			
		保健学	講義	30			2	*	*			
		生理学	講義	30			2	*	*			
		栄養学	講義	30			2	*	*			
		資格関係科目	日本国憲法	講義	30			2	*	*		
	ウエルネス論		講義	30			2		*			
	スポーツ		実技	30			1	*	*			

13単位以上

13単位以上

開講時期の○印は、その学期に開講する科目を示しています。

開講学期の*印の授業科目はオリエンテーションの履修指導、時間割等で確認してください。

なお、下記の科目については、開講時期が学科毎に設定されています。

	1 年次		2 年次	
	前期	後期	前期	後期
情報リテラシー	総生・美・幼			
データサイエンス入門		総生・美・幼		
データサイエンス演習		総生・美・幼		
プログラミング基礎			総生・美・幼	
日本国憲法	幼	総生・美		

幼：幼児教育科 総生：総合生活デザイン学科 美：美術科

教育課程表の見方

教育課程表には授業科目の分野、授業科目名、授業の方法、授業時間数、単位数(卒業要件上の必修・選択の区分)、開講時期、卒業(修了)要件について表記してあります。

授業すべき時間数	開講時期において行う授業時間数の合計時間数を示します。
単位数	必修科目－必ず履修しなければならない科目の単位数 選択科目－自由に選択できる科目(ただし、卒業のためには区分ごとに必要な単位を履修しなければなりません。)
開講時期	開講時期の○印は、その学期に開講する科目を示しています。 履修条件については、「履修の手引き」で確認してください。 開講時期の＊印の授業科目はオリエンテーションの履修指導、時間割等により確認してください。
卒業要件	単位修得表で授業科目区分ごとの要件を確認して、卒業に必要な最低単位以上選択履修してください。

(2) 専門教育科目 幼児教育科 教育課程表

<2025年度入学生>

領分 域 野		授業科目名	授業方法	授業すべき時間数	主要授業科目	単位数		開講時期				資格免許に必要な科目		提供科目
						必修	選択	1 年次		2 年次		幼稚園 教諭二	保育士 資格	
								前	後	前	後			
専 門 <														

<2025年度入学生>

領 域 分		授業科目名	授業方法	授業すべき時間数	主要授業科目	単位数		開講時期				資格免許に必要な科目		提供科目
						必修	選択	1 年次		2 年次		幼稚園 教諭二	保育士 資格	
								前	後	前	後			
								I	II	III	IV			
専門教育科目	保育の実践と研究	幼稚園教育実習事前・事後指導	講義	30	○		1		○	○	(○)	◎		
		幼稚園教育実習	実習	180	○		4		(○)	(○)	(○)	◎		
		保育実習指導Ⅰ	演習	60	○		2		○	○			◎	
		保育実習指導Ⅱ	演習	30	○		1			○	(○)		]1	
		保育実習指導Ⅲ	演習	30	○		1			○	(○)			
		保育実習Ⅰ	実習	180	○		4		(○)	(○)			◎	
		保育実習Ⅱ	実習	90	○		2			(○)	(○)		]2	
		保育実習Ⅲ	実習	90	○		2			(○)	(○)			
		保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	30	○		2				○	◎	◎	
		総合演習	演習	30	○	2			○					
		特別研究Ⅰ	演習	30	○	1				○				
		特別研究Ⅱ	演習	30	○	1					○			
卒業研究					○	2				○				

※から6単位以上、*から6単位以上

()は集中講義

☆は、総合生活デザイン学科、美術科への提供科目です。

I 短・学修の手引き

II 短・履修の手引き

III 学籍について

IV 専攻科
学修・履修の手引き

卒業に必要な単位数

授業科目区分	学科コース		幼児教育科		
	比治山ベーシック科目				
共通教育科目		比治山ベーシック科目	スタートアップ		必修 2 単位
			キャリア形成		必修を含め、2 単位以上
			コミュニケーション リテラシー	日本語	必修を含め、1 単位以上
				外国語	必修を含め、1 単位以上
				情 報	必修を含め、3 単位以上
			教養教育科目		4 単位以上選択必修
専門教育科目			必修		10単位
			選択		保育者論，社会福祉，子ども家庭福祉，教育心理学，教育方法論の中から6 単位および他の選択科目から24単位以上
卒業研究			2 単位		
計			66単位 ※		

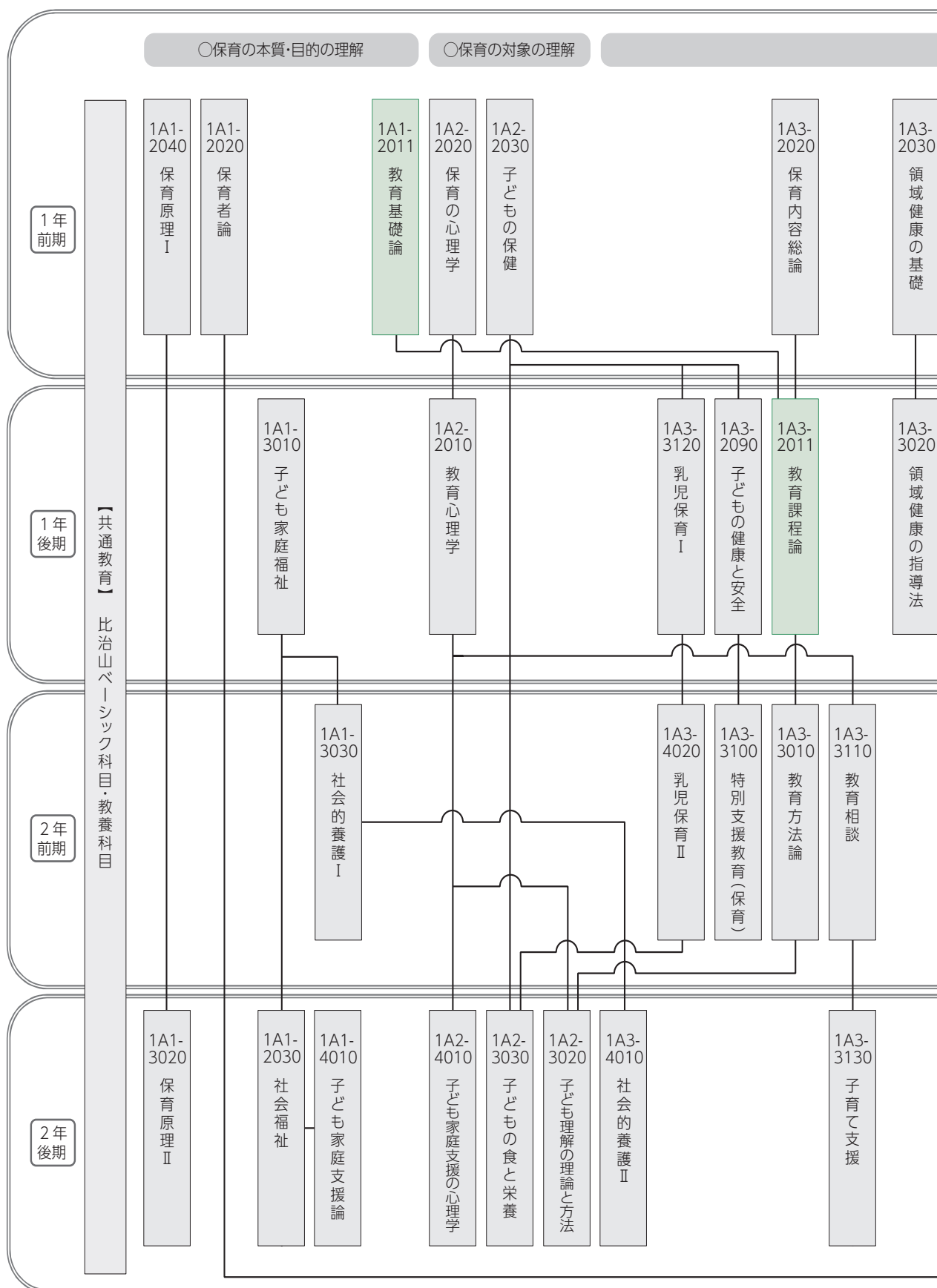
※他学科提供の専門教育科目，比治山大学特別聴講科目，他大学単位互換科目，交換留学プログラムの修得単位は，卒業要件単位に含まれます。

- 1) 卒業要件を充足するためには，必修科目および※印を付した選択科目(保育者論，社会福祉，子ども家庭福祉，教育心理学，教育方法論の中から6 単位)の他に専門教育科目の選択科目から24単位以上を修得しなければならない。
- 2) ◎印は免許・資格取得のための必修科目を，*印は保育士資格取得のための選択科目を示す。

教育課程表の見方

教育課程表には授業科目の分野，授業科目名，授業の方法，授業時間数，単位数(卒業要件上の必修・選択の区分)，開講時期，卒業(修了)要件，資格等要件について表記してあります。

授業すべき時間数	開講時期において行う授業時間数の合計時間数を示します。
単位数	必修科目－必ず履修しなければならない科目の単位数 選択科目－所属する学科で決められた科目群の中から自由に選択できる科目(ただし，卒業のためには区分ごとに必要な単位を履修しなければなりません。)
開講時期	○は，開講される時期(セメスター)を示しています。(○)は集中講義を示します。すべての科目には学修効果の観点から，履修年次が指定されています。この履修年次にしたがって修得してください。
卒業要件	単位修得表で授業科目区分ごとの要件を確認して，卒業に必要な最低単位以上選択履修してください。
資格等の要件	どの資格についても卒業要件を満たすことを最低条件とし，◎は，その資格取得上必修条件となっている科目について示しています。また，資格には教育課程表に示しきれない要件もありますので，該当する資格のページをよく参照して取りこぼしのないように履修計画をたててください。



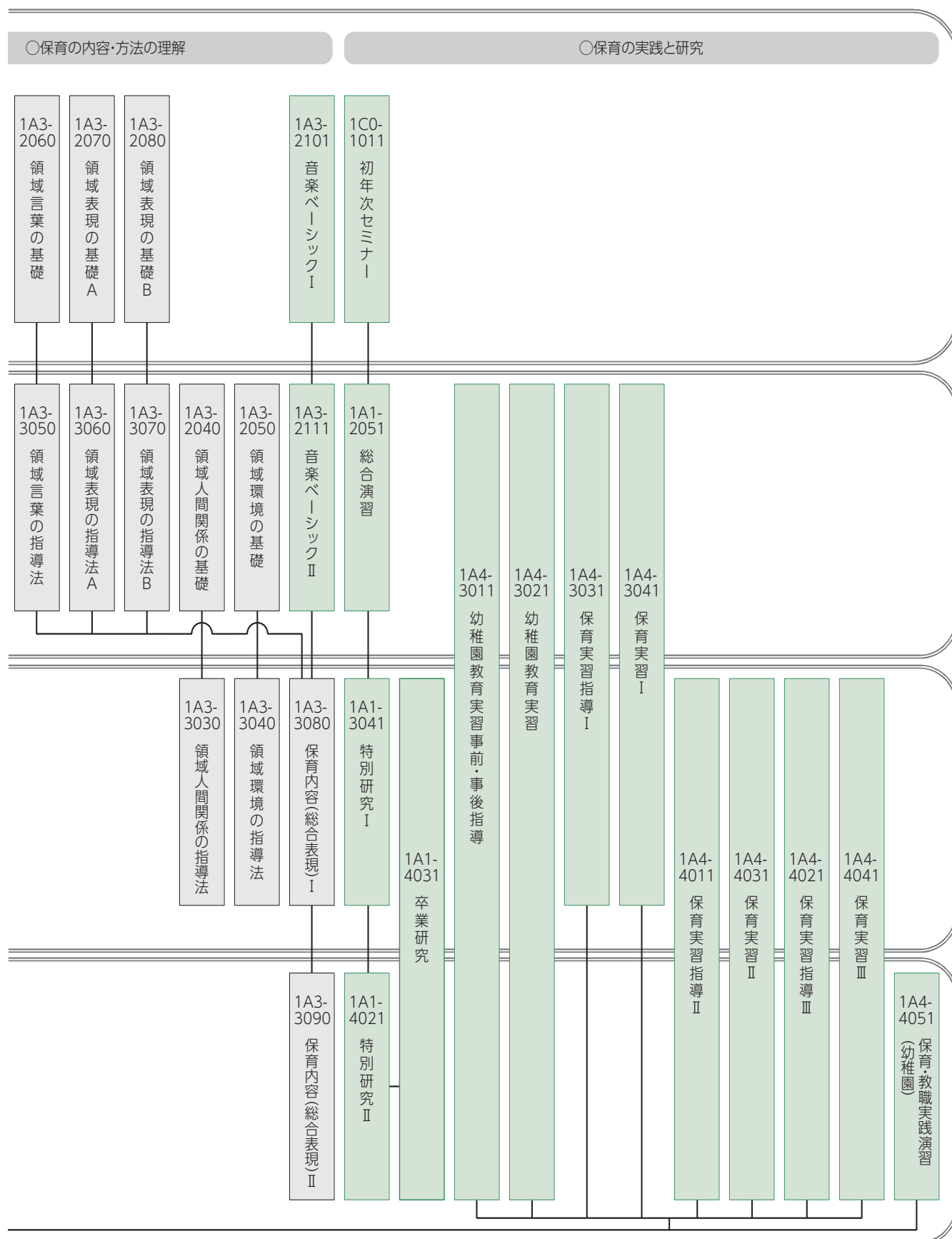
学科の目的や目標を達成するために必要な授業科目の流れとつながりをわかりやすく示しています。併せてナンバリングで授業科目の学問分野や難易度を分類することで学修の段階が分かるようにしています。

ナンバリングのコード規則

(例) 1 A4 - 3 02 1 「幼稚園教育実習」

[学部番号] [学問分野] [難易度] [通し番号] [主要授業科目]

主要授業科目

ナンバリング
各コードの詳細

〔学部番号〕

1 短期大学部

〔学問分野〕

A1	幼児教育コア科目 (基礎科目・特別研究などの必修系)
A2	保育の対象の理解
A3	保育の内容・方法の理解
A4	保育の実践と研究

〔難易度〕

1	レベル 1 共通教育
2	レベル 2 基礎
3	レベル 3 専門
4	レベル 4 発展

〔通し番号〕

01 順次

〔主要授業科目〕

1	主要授業科目
0	主要授業科目以外

(3) 専門教育科目 総合生活デザイン学科 教育課程表

<2025年度入学生>

授業科目区分		授業科目名	授業方法	授業すべき時間数	主要授業科目	単位数		開講時期				資格免許に必要な科目		検定受験のための推奨科目																提供科目	
						必修	選択	1年次		2年次		中学校教諭二 家	秘書士	上級秘書士	食生活アドバイザー検定 フードコーディネーター3級	食の検定	ファッション販売能力検定	ブライダルプランナー検定	ドレススタイリスト検定	CAD利用技術者試験	リビングスタイリスト資格検定	メディカル・クラーク	日商簿記検定	秘書技能検定	ITパスポート	色彩検定	パーソナルカラー検定	ネイル知識検定			
								前	後	前	後																				
								I	II	III	IV																				
共通専門科目	ゼミナール	総合生活デザイン演習Ⅰ	演習	30	○	2			○																						
		総合生活デザイン演習Ⅱ	演習	30	○	2			○																						
		総合生活デザイン演習Ⅲ	演習	30	○	2				○																					
	生活	メイクアップ演習	演習	30			1	(○)								*	*	*						*	*	*					
		パーソナルカラー演習	演習	30			1	○								*	*	*						*	*	*					
		ネイルアート演習	演習	30			1	○									*	*						*	*	*					
		ライフプラン	講義	30	○	2			○																						
		保育学	講義	30			2		○			◎																			
		生活経営学	講義	30	○	2					○	◎	◎	◎																	
		人間関係論(含家族関係)	講義	30			2				○	◎																		☆	
	キャリア	秘書実務	演習	30	○	2		○				◎	◎						*												
		プレゼンテーション	講義	30	○	2			○			◎	◎																		
		ビジネス実務基礎	講義	30	○	2			○			◎	◎							*											
		秘書学入門	講義	30	○	2			○			◎	◎							*									☆		
		接遇演習	演習	30			2		○				◎							*											
		秘書総合演習	演習	30			2			○			◎							*											
		おもてなし論	演習	30			2			○			◎																		
		簿記入門	講義	30			2		○				◎							*											
		医療事務Ⅰ	講義	30			2	○												*											
		医療事務Ⅱ	講義	30			2	○												*											
		医療事務Ⅲ	講義	15			1	(○)												*											
		検定トライアル	演習	30	○	2			○						*	*		*	*	*	*										
		チャレンジプログラムⅠ(就業体験)	演習	30			1	(○)						◎	*	*															
		チャレンジプログラムⅡ(ボランティア)	演習	30			1			(○)																					
	情報発信	ファッションビジネストレンド	講義	30	○	2		○							*	*	*														
		フードビジネストレンド	講義	30	○	2		○					◎	*	*				*												
		インテリアビジネストレンド	講義	30	○	2		○										*													
		社会調査	講義	30	○	2		○				◎								*	*										
		企画・マーケティング	講義	30			2			○											*										
		SNSリテラシー	演習	30	○	1		○				◎	◎	◎							*										
		Webデザイン基礎	演習	30			1		○												*										
		SNS情報発信演習	演習	30			1		○												*										
		デジタル映像演習	演習	30			1			○											*										

授業科目区分		授業科目名	授業方法	授業すべき時間数	主要授業科目	単位数		開講時期		資格免許に必要な科目			検定受験のための推奨科目																		提供科目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
						必修	選択	1年次		2年次		中学校教諭1級 秘書士	上級秘書士	フードコーディネーター3級	食生活アドバイザー検定	食の検定	ファッション販売能力検定	ブライダルプランナー検定	ドレススタイリスト検定	CAD利用技術者試験	リビングスタイリスト資格検定	メディカル・クラーク	日商簿記検定	秘書技能検定	ITパスポート	色彩検定	パーソナルカラー検定	ネイル知識検定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
								前	後	前	後																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
								I	II	III	IV																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
選択専門科目	衣の分野	ファッション造形実習	実習	30		1	○			◎				*	*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

◎は資格取得に必修、*は検定受験のための推奨科目、()は集中講義
☆は、幼児教育科、美術科への提供科目です。

卒業に必要な単位数

授業科目区分	総合生活デザイン学科			
	学科コース			
共通教育科目	比治山ベーシック科目	スタートアップ		必修 2 単位
		キャリア形成		必修を含め、2 単位以上
		コミュニケーションリテラシー	日本語	必修を含め、1 単位以上
			外国語	必修を含め、1 単位以上
			情 報	必修を含め、3 単位以上
		教養教育科目		4 単位以上選択必修
専門教育科目		必修		29単位
		選択		9 単位以上
卒業研究		2 単位		
計		64単位 ※		

※教職専門科目，他学科提供の専門教育科目，比治山大学特別聴講科目，他大学単位互換科目，交換留学プログラムの修得単位は，卒業要件単位に含まれます。

教育課程表の見方

教育課程表には授業科目の分野，授業科目名，授業の方法，授業時間数，単位数(卒業要件上の必修・選択の区分)，開講時期，卒業(修了)要件，資格等要件について表記してあります。

授業すべき時間数	開講時期において行う授業時間数の合計時間数を示します。
単位数	必修科目－必ず履修しなければならない科目の単位数 選択科目－所属する学科で決められた科目群の中から自由に選択できる科目(ただし，卒業のためには区分ごとに必要な単位を履修しなければなりません。)
開講時期	○は，開講される時期(セメスター)を示しています。(○)は集中講義を示します。すべての科目には学修効果の観点から，履修年次が指定されています。この履修年次にしたがって修得してください。
卒業要件	単位修得表で授業科目区分ごとの要件を確認して，卒業に必要な最低単位以上選択履修してください。
資格等の要件	どの資格についても卒業要件を満たすことを最低条件とし，◎は，その資格取得上必修条件となっている科目，*は検定受験のための推奨科目について示しています。また，資格には教育課程表に示しきれない要件もありますので，該当する資格のページをよく参照して取りこぼしのないように履修計画をたててください。

		1 年前期	1 年後期
		【共通教育】 比治山ベーシック科目・教養科目	
共通専門科目	ゼミナール		1F1-2021 総合生活デザイン演習I
	生活	1F2-2050 メイクアップ演習(集中) 1F2-2060 パーソナルカラー演習	1F2-2090 保育学 1F2-2070 ネイルアート演習
	キャリア	1F3-3240 チャレンジプログラムI(就業体験) 1F3-2121 秘書実務 1F3-2200 医療事務I	1F3-2190 簿記入門 1F3-2141 ビジネス実務基礎 1F3-2131 プレゼンテーション 1F3-2210 医療事務II 1F3-2220 医療事務III
	情報発信	1F4-2261 ファッションビジネストrend 1F4-2271 フードビジネストrend 1F4-4281 インテリアビジネストrend 1F4-2311 SNSリテラシー	1F4-3291 社会調査 1F4-3320 Webデザイン基礎
	衣の分野	1F5-2350 ファッション造形実習 1F5-2390 ブライダル入門	1F5-3371 ファッションデザイン 1F5-3400 ブライダル概論 1F5-2360 衣生活論
選択専門科目	食の分野	1F6-2420 食生活実習	1F6-2430 栄養学 1F6-2441 フードデザイン 1F6-2450 食生活論
	住の分野	1F7-2490 インテリアデザイン実習	1F7-2510 インテリアコーディネート 1F7-2520 CAD演習 1F7-2530 住生活論 1F7-2501 空間表現

学科の目的や目標を達成するために必要な授業科目の流れとつながりをわかりやすく示しています。併せてナンバリングで授業科目の学問分野や難易度を分類することで学修の段階が分かるようにしています。

ナンバリングのコード規則

(例) 1 F 1 - 2 02 1 「総合生活デザイン演習 I」

[学部番号] [学問分野] [難易度] [通し番号] [主要授業科目]

主要授業科目

2 年前期	2 年後期
【共通教育】 比治山ベーシック科目・教養科目	
1F1-4031 総合生活デザイン演習Ⅱ	1F1-4041 総合生活デザイン演習Ⅲ
1F2-2081 ライフプラン	1F2-2101 生活経営学
	1F2-2110 人間関係論(含家族関係)
1F3-4250 チャレンジプログラムⅡ(ボランティア)	
1F3-2151 秘書学入門	1F3-2170 秘書総合演習
1F3-2160 接遇演習	1F3-2180 おもてなし論
1F3-3231 検定トライアル	
1F4-4330 SNS情報発信演習	1F4-3300 企画・マーケティング
	1F4-4340 デジタル映像演習
1F5-4380 ファッションコーディネート	
1F5-4410 ブライダル演習	
1F6-3460 食品学	1F6-4470 フランス料理実習
	1F6-4480 フードコーディネート
1F7-3540 住・インテリア計画	1F7-3550 住・インテリア設計製図
1F1-4011 卒業研究	

I 短・学修の手引き

II 短・履修の手引き

III 学籍について

IV 専攻科
学修・履修の手引き

ナンバリング 各コードの詳細

【学部番号】

1 短期大学部

【学問分野】

F1	ゼミナールなどの必修系
F2	生活
F3	キャリア
F4	情報発信
F5	衣の分野
F6	食の分野
F7	住の分野

【難易度】

1	レベル 1 共通教育
2	レベル 2 基礎
3	レベル 3 専門
4	レベル 4 発展

【通し番号】

01 順次

【主要授業科目】

1	主要授業科目
0	主要授業科目以外

(4) 専門教育科目 美術科 教育課程表

<2025年度入学生>

授業科目 区分		授業科目名	授業 方法	授業 す べ き 時 間 数	主 要 授 業 科 目	単位数		開講時期				備考	中学校 教諭 二 家	提 供 科 目
						必修	選択	1年次		2年次				
								前	後	前	後			
								I	II	III	IV			
学科内共通科目	基礎実習科目	絵画・マンガ	演習	60	○	2		○				美術史Ⅰを含め いずれかから 8単位以上 選択必修	○	
		デザイン・映像	演習	60	○	2		○					○	
		工芸	演習	60	○	2		○					○	
		造形演習Ⅰ	演習	60			2		○					
		立体	演習	30			1	(○)					○	
	美術理論系科目	美術史Ⅰ	講義	30	○	2		○				美術史Ⅰを含め いずれかから 8単位以上 選択必修	○	
		美術史Ⅱ	講義	30	○		2		○				○	
		美術基礎論	講義	30	○		2	○						
		色彩学	講義	30	○		2	○					○	
		アート・プロデュース	講義	30	○		2			○				☆
		デザイン・造形論Ⅰ	講義	30			2		○					☆
		デザイン・造形論Ⅱ	講義	30			2			○				☆
		作品研究	演習	30			2		○					☆
		マンガ・アニメーション論	講義	30			2			○				
		美術史演習	演習	30			2				(○)			
		マンガ持込み演習	演習	30			2				(○)			
	CG系科目	CG演習Ⅰ	演習	30			2	○				CG演習Ⅰ,Ⅱの いずれか選択必修	○	
		CG演習Ⅱ	演習	30			2		○				○	
		映像CG演習	演習	30			2		○					
		3DCG演習	演習	30			2			○				
		ゲーム・キャラクターデザイン演習Ⅰ	演習	30			2			○				
		ゲーム・キャラクターデザイン演習Ⅱ	演習	30			2				○			
		WEBデザイン演習	演習	30			2						○	
コース専門科目	造形表現A	演習	60	○		2		○						
	造形表現B	演習	60	○		2		○						
	造形演習Ⅱ	演習	60			2			○					
	平面・素材表現	実技	60			2			○					
	ビジュアル表現	実技	60			2			○					
	特別制作	実技	60			2				○				
	日本画Ⅰ	実技	120	○		4			○			○		
	日本画Ⅱ	実技	120	○		4				○				
	洋画Ⅰ	実技	120	○		4			○			○		
	洋画Ⅱ	実技	120	○		4				○				
	工芸デザインⅠ	実技	120	○		4			○			○		
	工芸デザインⅡ	実技	120	○		4						○		
	マンガ・キャラクターⅠ	実技	120	○		4			○			○		
	マンガ・キャラクターⅡ	実技	120	○		4				○				
	映像・アニメーションⅠ	実技	120	○		4			○			○		
	映像・アニメーションⅡ	実技	120	○		4						○		
	グラフィックデザインⅠ	実技	120	○		4			○			○		
	グラフィックデザインⅡ	実技	120	○		4						○		
卒業制作					○	2				○				

◎印は資格取得のための必修科目，○は資格取得のための選択科目，（ ）は集中講義

☆は、幼児教育科、総合生活デザイン学科への提供科目です。

卒業に必要な単位数

授業科目区分	学科コース		美術科		
	比治山ベーシック科目				
共通教育科目		スタートアップ		必修2単位	13単位
		キャリア形成		必修を含め、2単位以上	
		コミュニケーション リテラシー	日本語	必修を含め、1単位以上	
			外国語	必修を含め、1単位以上	
			情報	必修を含め、3単位以上	
		教養教育科目		4単位以上選択必修	
専門教育科目		学科内共通科目		必修を含め20単位以上	34単位
		コース専門科目		14単位以上	
卒業制作				2単位	
計				64単位 ※	

※教職専門科目、他学科提供の専門教育科目、比治山大学特別聴講科目、他大学単位互換科目、交換留学プログラムの修得単位は、卒業要件単位に含まれます。

卒業要件を充足するためには、学科内共通科目の基礎実習科目から必修科目・美術理論系科目から必修科目を含め8単位以上・CG演習Ⅰ・Ⅱから選択必修し合計20単位以上修得することと、コース専門科目の中から14単位以上を修得しなければならない。

教育課程表の見方

教育課程表には授業科目の分野、授業科目名、授業の方法、授業時間数、単位数(卒業要件上の必修・選択の区分)、開講時期、卒業(修了)要件、資格等要件について表記してあります。

授業すべき時間数	開講時期において行う授業時間数の合計時間数を示します。
単位数	必修科目ー必ず履修しなければならない科目の単位数 選択科目ー所属する学科で決められた科目群の中から自由に選択できる科目(ただし、卒業のためには区分ごとに必要な単位を履修しなければなりません。)
開講時期	○は、開講される時期(セメスター)を示しています。(○)は集中講義を示します。すべての科目には学修効果の観点から、履修年次が指定されています。この履修年次にしたがって修得してください。
卒業要件	単位修得表で授業科目区分ごとの要件を確認して、卒業に必要な最低単位以上選択履修してください。
資格等の要件	どの資格についても卒業要件を満たすことを最低条件とし、◎は、その資格取得上必修条件となっている科目、○は資格取得のための選択科目について示しています。また、資格には教育課程表に示しきれない要件もありますので、該当する資格のページをよく参照して取りこぼしのないように履修計画をたててください。

	1 年前期	1 年後期
	【共通教育】 比治山ベーシック科目・教養科目	
基礎実習科目	1L1-2011 絵画・マンガ 1L1-2021 デザイン・映像 1L1-2031 工芸 1L1-2060 立体	1L1-2110 造形演習I
美術理論系科目	1L2-3011 美術史I 1L2-2011 美術基礎論 1L2-3211 色彩学	1L2-3021 美術史II 1L2-3110 デザイン・造形論I 1L2-3310 作品研究
CG系科目	1L3-3010 CG演習I	1L3-3020 CG演習II 1L3-3030 映像CG演習
日本画コース		1L4-3051 造形表現A(日本画)
洋画コース		1L4-3051 造形表現A(洋画)
工芸デザインコース		1L4-3051 造形表現A(工芸デザイン)
グラフィックデザインコース		1L4-3061 造形表現B(グラフィックデザイン)
映像・アニメーションコース		1L4-3061 造形表現B(映像・アニメーション)
マンガ・キャラクターコース		1L4-3061 造形表現B(マンガ・キャラクター)

学科の目的や目標を達成するために必要な授業科目の流れとつながりをわかりやすく示しています。併せてナンバリングで授業科目の学問分野や難易度を分類することで学修の段階が分かるようにしています。

ナンバリングのコード規則

(例) 1 L 1 - 2 01 1 「絵画・マンガ」
 [学部番号] [学問分野] [難易度] [通し番号] [主要授業科目]

主要授業科目

2 年前期	2 年後期
【共通教育】 比治山ベーシック科目・教養科目	
1L2-3041 アート・プロデュース	
1L2-3120 デザイン・造形論II	
1L2-3130 マンガ・アニメーション論	
1L2-4110 美術史演習	
1L2-4120 マンガ持込み演習	
1L3-4030 3DCG演習	1L3-4020 WEBデザイン演習
1L3-4040 ゲーム・キャラクターデザイン演習I	1L3-4050 ゲーム・キャラクターデザイン演習II
1L4-4111 日本画I	1L4-4121 日本画II
1L4-4080 平面・素材表現	1L4-4010 特別制作
1L4-3120 造形演習II	
1L4-4211 洋画I	1L4-4221 洋画II
1L4-4080 平面・素材表現	1L4-4010 特別制作
1L4-3120 造形演習II	
1L4-4611 工芸デザインI	1L4-4621 工芸デザインII
1L4-4080 平面・素材表現	1L4-4010 特別制作
1L4-3120 造形演習II	
1L4-4511 グラフィックデザインI	1L4-4521 グラフィックデザインII
1L4-4040 ビジュアル表現	1L4-4010 特別制作
1L4-3120 造形演習II	
1L4-4411 映像・アニメーションI	1L4-4421 映像・アニメーションII
1L4-4040 ビジュアル表現	1L4-4010 特別制作
1L4-3120 造形演習II	
1L4-4311 マンガ・キャラクターI	1L4-4321 マンガ・キャラクターII
1L4-4040 ビジュアル表現	1L4-4010 特別制作
1L4-3120 造形演習II	

1L9-4011
卒業制作ナンバリング
各コードの詳細

【学部番号】
1 短期大学部

【学問分野】
L1 基礎実習科目
L2 美術理論系科目
L3 CG系科目
L4 コース専門科目

【難易度】
1 レベル 1 共通教育
2 レベル 2 基礎
3 レベル 3 専門
4 レベル 4 発展

【通し番号】
01 順次
【主要授業科目】
1 主要授業科目
0 主要授業科目以外

(5) 留学生科目

これらの授業科目は留学生だけが受講できる科目であり、学修状況に合わせて計画的に開設しています。(これらの授業科目は学則第22条より共通教育科目の単位に代えることができます。詳しくはチューター又は教務課に確認してください。)

授業科目名	開講 セメスター	単位数		授業科目名	開講 セメスター	単位数	
		必修	選択			必修	選択
日本語ⅠA	1		1	日本語ⅡA	2		1
日本語ⅠB	1		1	日本語ⅡB	2		1
日本語ⅠC	1		1	日本語ⅡC	2		1
日本語ⅠD	1		1	日本語ⅡD	2		1
計							
							8

(6) 教育プログラム 比治山大学・ 比治山大学短期大学部 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム

①教育プログラムの目的

数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な知識及び技術を偏りなく体系的に修得することにより、社会におけるデータ・AI活用に関する知識やデータを適切に読み解く能力を高めるとともに、利活用の楽しさや学び意義を把握し、自分の生活に積極的に取り入れようとする態度の向上を期待します。

②修了要件

「共通教育科目」の「情報リテラシー」(1単位)、「データサイエンス入門」(2単位)、合計3単位を修得すること。

③教育プログラム修了証の交付

希望する学生には教育プログラム修了証を交付します。

(7) 免許に関する 教育課程表 教職課程に 関連する科目

対象学科：総合生活デザイン学科・美術科

<2025年度入学生>

授業 科目 区分	授 業 科 目 名	授業 方法	授業 すべき 時間数	単位数		開講セメスター				中学校 教諭 二家	中学校 教諭 二美	提供 科目
				必修	選択	1 年次		2 年次				
						前期	後期	前期	後期			
教職課程に 関連する科目	家庭科教育法	講義	30		2	○				◎		
	美術科教育法	講義	30		2		○				◎	
	教育基礎論	講義	30		2		○			◎	◎	☆
	教職入門	講義	30		2	○				◎	◎	☆
	教育の制度と経営	講義	30		2				○	◎	◎	☆
	教育心理学	講義	30		2			○		◎	◎	☆
	特別支援教育論	講義	15		1		○			◎	◎	☆
	教育課程総論	講義	15		1			○		◎	◎	☆
	道徳教育の理論と方法	講義	15		1			○		◎	◎	☆
	総合的な学習の時間の指導法	講義	15		1		○			◎	◎	☆
	特別活動の指導法	講義	15		1			○		◎	◎	☆
	教育の方法と技術	講義	15		1			○		◎	◎	☆
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	講義	15		1				○	◎	◎	☆
	生徒・進路指導論	講義	30		2				○	◎	◎	☆
	教育相談(カウンセリングを含む。)	講義	30		2			○		◎	◎	☆
	教育実習指導	講義	15		1				○	◎	◎	
	教育実習Ⅰ	実習	90		2				○	◎	◎	
	教育実習Ⅱ	実習	90		2				○	◎	◎	
	教職実践演習(中学校)	演習	30		2					○	◎	◎
	介護等体験指導	演習	15		1					○	◎	◎
	学校支援ボランティア	実習	30		1		○				○	○

◎印は免許取得のための必修科目、○は選択科目。

教職課程に関連する科目は、学科の専門科目以外の教職課程の科目を示す。

教育職員免許状の取得を希望しない者も、教職課程に関連する科目のうち☆の科目を履修することができる。

中学校教諭二家・美＝中学校教諭二種免許状(家庭)・(美術)

4 免許・資格について

(1) 比治山大学 短期大学部で 取得できる 免許・資格

本学においては、次のような免許・資格等が取得できます。詳しい内容については、それぞれの該当の箇所をよく読んで履修してください。

各学科で取得できる免許・資格等は次のとおりです。

免許・資格等	学科	幼児 教育科	総合生活 デザイン 学科	美術科
中学校教諭二種免許状(家庭)			○	
中学校教諭二種免許状(美術)				○
幼稚園教諭二種免許状		○		
保育士資格(保育士証)		○		
秘書士資格認定証			○	
上級秘書士資格認定証			○	
フードコーディネーター3級			○	

免許・資格等取得に関わる費用

資 格	実習・その他	申請費用
中学校教諭二種免許状(家庭)	29,750円	3,400円
中学校教諭二種免許状(美術)	29,750円	3,400円
幼稚園教諭二種免許状	13,500円	3,400円
保育士資格(保育士証)	29,000円	4,200円
秘書士資格認定証	—	5,500円
上級秘書士資格認定証	—	7,700円
フードコーディネーター3級	—	6,000円

上記は、2025年1月現在の金額です。それぞれの協会等の都合により変動の可能性があります。掲示または配付物等で確認してください。また、中学校実習は実習校により実習費は変動します。

(2) 教育職員 免許状の 取得について

① 中学校教諭 二種免許状 (家庭)(美術)

総合生活デザイン学科・美術科の学生が、中学校教諭二種免許状(それぞれの教科は「家庭」「美術」)を取得するには、基礎資格(短期大学士の学位)を有し、また共通教育科目、教科及び教職に関する科目について所定の単位(最低修得単位)を修得しなければなりません。

免許状の種類	基礎資格	本学において修得することを必要とする授業科目の単位数	
		共通教育科目	教科及び教職に関する科目
中学校教諭二種免許状(家庭)	短期大学士の学位を有すること	10	45
中学校教諭二種免許状(美術)			45

中学校教諭二種免許状の取得希望者は、特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間、合計7日間の「介護等体験」を行わなければなりません。

共通教育科目
及び単位数

次表に示す科目毎に必要な単位数以上を履修してください。

免許法施行規則 に定める科目区分	単位数	本学における開講科目		開講時期			
				1 年次		2 年次	
		授業科目名	単位数	前期	後期	前期	後期
日本国憲法	2	◎ 日本国憲法	2		○		
体育	2	◎ スポーツ	1	○			
		◎ ウエルネス論	2		○		
外国語コミュニケーション	2	◎ 英語リテラシー	1	○			
		● 英語	1		○		
		● 英会話Ⅰ	1	○			
		● 英会話Ⅱ	1		○		
		● 中国語Ⅰ	1	○			
		● 中国語Ⅱ	1		○		
		● 韓国語Ⅰ	1	○			
		● 韓国語Ⅱ	1		○		
数理，データ活用及び人工 知能に関する科目	2	◎ 情報リテラシー	1	○			
		◎ データサイエンス入門	2		○		
		合計	10				

◎は教職必修科目 ●の中から1科目1単位以上履修すること。

(注) 共通教育科目については、比治山ベーシック科目の9単位以上、および教養科目の4単位以上、合計13単位以上を修得してください。詳細については、各学科の「教育課程表」と併せて「卒業要件・資格等欄」で確認してください。

教科及び教職
に関する科目
及び単位数

総合生活デザイン学科 中学校教諭二種免許状(家庭)

施行規則に定める科目区分等			本学における授業科目及び単位数						
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項		最低修得 単位数	授業科目	単位数		開講 セメスター	履修 方法等	
					必	選			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	各科目 1単位 以上	生活経営学 ○	2		4	○は、一般的包括的内容を含む科目	
		被服学(被服実習を含む。)		人間関係論(含家族関係) ○	2		4		
				食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	衣生活論 ○	2			2
		住居学			ファッション造形実習 ○	1			1
					保育学	栄養学 ○	2		
		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		食品学 ○		2			3
				計	2	食生活実習 ○	1		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	6	住生活論 ○		2		2		
			保育学 ○	2		2			
家庭科教育法			2		1・2				
必要単位数			18						
教育基礎論			2		2				
教職入門			2		1				
教育の制度と経営			2		4				
教育心理学	2		3						
特別支援教育論	1		2						
教育課程総論	1		3						

施行規則に定める科目区分等			本学における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講 セメスター	履修方法等
				必	選		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	6	道徳教育の理論と方法	1		3	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1		2	
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	1		3	
	教育の方法及び技術		教育の方法と技術	1		3	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1		4	
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2		4	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談(カウンセリングを含む。)	2		3	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		—	—	—		
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導	1		3・4	
			教育実習Ⅰ	2		3・4	
			教育実習Ⅱ	2		3・4	
	学校体験活動		—	—			
	教職実践演習	2	教職実践演習(中学校)	2		4	
計		19	必要単位数		26		
大学が独自に設定する科目	—	4	介護等体験指導 学校支援ボランティア	1	1	3・4 1～4	大学が独自に設定する科目として算入できる単位 ①12単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ②19単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目」から「教育実践に関する科目」 ③大学が独自に設定する科目 ①②③の中から4単位以上とする
総計		35	必要単位数		45		

(注) (1) 中学校教諭の普通免許状を授与するための条件として、**介護等体験**(7日間)が必要です。詳細についてはその都度掲示します。

(2) 「教職実践演習(中学校)」の履修は、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得見込みであること(過年度生も同様)、および、教科及び教職に関する科目のうち、「教職実践演習(中学校)」を除くすべての単位を修得または履修中であることを条件とします。各自、記録・保管の「履修カルテ」がないと履修できません。

(3) 「履修カルテ」について
 ○教員免許取得に必要です。
 ○2年間を通して履修カルテに入力し、作成してください。

※教育職員免許状の取得を希望しない者も、教職課程に関連する科目を履修することができます。ただし、「教育実習指導」、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「教職実践演習(中学校)」、「家庭科教育法」、「美術科教育法」、「介護等体験指導」、「学校支援ボランティア」の履修はできません。

教科及び教職
に関する科目
及び単位数

美術科 中学校教諭二種免許状(美術)

施行規則に定める科目区分等			本学における授業科目及び単位数								
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項		最低修得 単位数	授業科目	単位数		開講 セメスター	履修方法等			
					必	選					
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	絵画(映像メディア表現を含む。)	各科目 1単位 以上	絵画・マンガ ○ 日本画Ⅰ 洋画Ⅰ	2	4 4	1 3 3	○は、一般的包括的内容を含む科目			
		彫刻		立体 ○	1		1				
		デザイン(映像メディア表現を含む。)		デザイン・映像 ○ マンガ・キャラクターⅠ 映像・アニメーションⅠ グラフィックデザインⅠ 工芸デザインⅠ CG演習Ⅰ CG演習Ⅱ	2	4 4 4 4 2 2	1 3 3 3 1 2				
				工芸	工芸 ○	2			1		
				美術理論・美術史 (鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	美術史Ⅰ ○ 美術史Ⅱ ○ 色彩学	2 2			1 2 1		
					各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	2	美術科教育法		2		2
					計		12		最低修得単位数	18	
	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育基礎論	2		2				
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門		2		1					
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の制度と経営		2		4					
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学		2		3					
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論		1		2					
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程総論		1		3					

施行規則に定める科目区分等			本学における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講 セメスター	履修方法等
				必	選		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	6	道徳教育の理論と方法	1		3	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1		2	
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	1		3	
	教育の方法及び技術		教育の方法と技術	1		3	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1		4	
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2		4	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談(カウンセリングを含む。)	2		3	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		—	—	—		
	—		—	—			
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導	1		3・4	
	教育実習		教育実習Ⅰ	2		3・4	
	教育実習		教育実習Ⅱ	2		3・4	
	学校体験活動	—	—	—			
	教職実践演習	2	教職実践演習(中学校)	2		4	
計		19	最低修得単位数	26			
大学が独自に設定する科目	—	4	介護等体験指導 学校支援ボランティア	1	1	3・4 1～4	大学が独自に設定する科目として算入できる単位 ①12単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ②19単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目」から「教育実践に関する科目」 ③大学が独自に設定する科目 ①②③の中から4単位以上とする
総計		35	最低修得単位数	45			

- (注) (1) 「教育実習Ⅰ・Ⅱ」を履修するためには、原則として1年次後期までの教科及び教職に関する科目(教科に関する専門的事項を除く)の単位をすべて修得していることが必要です。
- (2) 中学校教諭の普通免許状を授与するための条件として、**介護等体験**(7日間)が必要です。詳細についてはその都度掲示します。
- (3) 「教職実践演習(中学校)」の履修は、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得見込みであること(過年度生も同様)、および、教科及び教職に関する科目のうち、「教職実践演習(中学校)」を除くすべての単位を修得または履修中であることを条件とします。各自、記録・保管の「履修カルテ」がないと履修できません。
- (4) 「履修カルテ」について
○教員免許取得に必要です。
○2年間を通して履修カルテに入力し、作成してください。

※教育職員免許状の取得を希望しない者も、教職課程に関連する科目を履修することができます。ただし、「教育実習指導」、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「教職実践演習(中学校)」、「家庭科教育法」、「美術科教育法」、「介護等体験指導」、「学校支援ボランティア」の履修はできません。

②幼稚園教諭 二種免許状

幼児教育科の学生が、幼稚園教諭二種免許状を取得するには、基礎資格(短期大学士の学位)を有し、また共通教育科目、教科及び教職に関する科目について所定の単位(最低修得単位)を修得しなければなりません。

免許状の種類	基礎資格	本学において修得することを必要とする授業科目の単位数	
		共通教育科目	教科及び教職に関する科目
幼稚園教諭二種免許状	短期大学士の学位を有すること	10	38

共通教育科目 及び単位数

次表に示す科目毎に必要な単位数以上を修得してください。

免許法施行規則 に定める科目区分	単位数	本学における開講科目		開講時期			
				1 年次		2 年次	
		授業科目名	単位数	前期	後期	前期	後期
日本国憲法	2	◎ 日本国憲法	2	○			
体育	2	◎ スポーツ	1	○			
		◎ ウエルネス論	2		○		
外国語コミュニケーション	2	◎ 英語リテラシー	1	○			
		● 英語	1		○		
		● 英会話Ⅰ	1	○			
		● 英会話Ⅱ	1		○		
		● 中国語Ⅰ	1	○			
		● 中国語Ⅱ	1		○		
		● 韓国語Ⅰ	1	○			
		● 韓国語Ⅱ	1		○		
数理，データ活用及び人工 知能に関する科目	2	◎ 情報リテラシー	1	○			
		◎ データサイエンス入門	2		○		
		合計	10				

- 1) ◎は教職必修科目
2) ●の中から1科目1単位以上履修すること。

教科及び教職 に関する科目 及び単位数

幼児教育科 幼稚園教諭二種免許状

施行規則に定める科目区分等			本学における授業科目及び単位数					
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項		最低修得 単位数	授業科目	単位数		開講 セメスター	履修 方法等
					必	選		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	12	領域健康の基礎	1		1	
		人間関係		領域人間関係の基礎	1		2	
		環境		領域環境の基礎	1		2	
		言葉		領域言葉の基礎	1		1	
		表現		領域表現の基礎 A	1		1	
	領域表現の基礎 B			1		1		
	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	領域健康の指導法		1		2		
		領域人間関係の指導法		1		3		
		領域環境の指導法		1		3		
		領域言葉の指導法		1		2		
		領域表現の指導法 A		1		2		
		領域表現の指導法 B		1		2		
		保育内容(総合表現)Ⅰ		1		3		
		保育内容(総合表現)Ⅱ		1		4		
計		12	必要単位数		14			

施行規則に定める科目区分等			本学における授業科目及び単位数				
科目 区分	各科目に含める ことが必要な事項	最低修得 単位数	授業科目	単位数		開講 セメスター	履修 方法等
				必	選		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育基礎論	2		1	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)を含む
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		保育者論	2		1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		—	—	—		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育(保育)	2		3	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	2		2	
等に関する科目 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育方法論	2		3	
	幼児理解の理論及び方法		子ども理解の理論と方法	1		4	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	2		3	
関する科目 教育実践に	教育実習	5	幼稚園教育実習事前・事後指導	1		2～4	
	幼稚園教育実習		4		2～4		
	学校体験活動	—	—	—	—		
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼稚園)	2		4	
計		17	必要単位数	22			
自に設定する科目 大学が独	—	2	音楽ベーシックⅠ	1		1	
			音楽ベーシックⅡ	1		2	
総計		31	必要単位数	38			

- 1) 「幼稚園教育実習事前・事後指導」及び「幼稚園教育実習」の履修にあたっては、1年前期開講科目のうちの教職必修科目である「教育基礎論」、「保育者論」、「領域健康の基礎」、「領域言葉の基礎」、「領域表現の基礎A」、「領域表現の基礎B」、「音楽ベーシックⅠ」の7科目中5科目以上の単位を修得していることを条件とします。
- 2) 「保育・教職実践演習(幼稚園)」の履修は、「幼稚園教育実習事前・事後指導」、「幼稚園教育実習」の単位を修得見込みであること(過年度生も同様)及び、教科及び教職に関する科目のうち、「保育・教職実践演習(幼稚園)」を除くすべての単位を修得または履修中であることを条件とします。

(3) 履修カルテについて

教員免許を取得しようとする学生は、教職課程の科目履修を始めてから「教職実践演習」(最終セメスター)の授業を履修し、さらに教員免許を取得するまで、各自「履修カルテ」を作成しなければなりません。「履修カルテ」とは、自分が教職課程の授業の中で、何を学んだか、振り返るとともに、教員の指導を受け、今後どのような学習が必要なのかを自分で考えるためのものです。

(4) 資格等の
取得について① 保育士資格
(保育士証)

必修科目

次の資格等を取得するには、短期大学士の学位を有することが必要です。

幼児教育科の学生で、保育士資格(保育士証)を取得するには、児童福祉法施行規則に定める所定の単位を修得しなければなりません。

次表に示す全科目を履修してください。

保育士資格(児童福祉法施行規則告示との対比表)

厚生労働省告示による教科目等				本学における開講科目等							
系列	教科目	授業形態	開設単位数	授業科目	授業形態	単位数		開講時期			
						必修	選択	1年次		2年次	
								前期	後期	前期	後期
必修科目 (厚生労働省告示別表1による教科目)	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理Ⅰ	講義	2		○		
		教育原理	講義	2	教育基礎論	講義	2		○		
		子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	2			○	
		社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2				○
		子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	2				○
		社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	講義	2			○	
		保育者論	講義	2	保育者論	講義	2		○		
				計14			計14				
	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	保育の心理学	講義	2		○		
		子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	講義	2				○
		子どもの理解と援助	演習	1	子ども理解の理論と方法	演習	1				○
		子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	2		○		
		子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	2				○
				計9			計9				
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	教育課程論	講義	2			○	
		保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	1		○		
		保育内容演習	演習	5	領域健康の指導法	演習	1			○	
					領域人間関係の指導法	演習	1				○
					領域環境の指導法	演習	1				○
					領域言葉の指導法	演習	1			○	
					領域表現の指導法A	演習	1			○	
		保育内容の理解と方法	演習	4	領域健康の基礎	演習	1		○		
					領域人間関係の基礎	演習	1			○	
					領域環境の基礎	演習	1			○	
					領域言葉の基礎	演習	1		○		
		乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	2			○	
		乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	1				○
		子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	1			○	
		障害児保育	演習	2	特別支援教育(保育)	演習	2				○
		社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ	演習	1				○
		子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	1				○
				計20			計20				
	保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ	実習	4			(○)	(○)
保育実習指導Ⅰ		演習	2	保育実習指導Ⅰ	演習	2			○	○	
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	2				○	
必修科目 計			51	必修科目 計			51				

- 「保育実習指導Ⅰ」及び「保育実習Ⅰ」の履修にあたっては、1年前期開講科目のうちの卒業及び保育士資格必修科目である「教育基礎論」、「保育者論」、「保育原理Ⅰ」、「保育の心理学」、「子どもの保健」、「保育内容総論」、「領域健康の基礎」、「領域言葉の基礎」、「音楽ベーシックⅠ」の9科目中7科目の単位を修得していることを条件とします。
- 「保育・教職実践演習(幼稚園)」の履修は、「保育実習Ⅰ」の単位と「保育実習Ⅱ」及び「保育実習指導Ⅱ」あるいは「保育実習Ⅲ」及び「保育実習指導Ⅲ」のいずれかの単位を修得しているまたは修得見込みであること(過年度生も同様とする)および、保育士資格の取得に必要な専門科目のうち、「保育・教職実践演習(幼稚園)」を除くすべての単位を修得または履修中であることを条件とします。

選択必修科目

次表の科目の中から、9単位以上履修してください。

厚生労働省告示による教科目			本学における開講科目等								
系列	教科目	開設 単位数	授業科目	授業 形態	単位数		開講時期				
					必修	選択	1年次		2年次		
							前期	後期	前期	後期	
選択必修科目 (厚生労働省告示別表2による教科目)	保育の本質・目的に関する科目	15以上	保育原理Ⅱ	講義	2					○	
	保育の対象の理解に関する科目		教育心理学	講義	2		○				
	保育の内容・方法に関する科目		教育方法論	講義	2				○		
			領域表現の基礎A	演習	1	○					
			領域表現の基礎B	演習	1	○					
			領域表現の指導法B	演習	1		○				
			保育内容(総合表現)Ⅰ	演習	1				○		
			保育内容(総合表現)Ⅱ	演習	1						○
			教育相談	演習	2				○		
			音楽ベーシックⅠ	実技	1	○					
			音楽ベーシックⅡ	実技	1		○				
	保育実習	3以上	保育実習指導Ⅱ	演習	1				○	(○)	
			保育実習Ⅱ	実習	2				(○)	(○)	
			保育実習指導Ⅲ	演習	1				○	(○)	
			保育実習Ⅲ	実習	2				(○)	(○)	
	選択必修科目 計		18以上	選択必修科目 計		9以上					
	合計		79以上	合計		73以上					

- 1) 「保育実習Ⅱ」及び「保育実習指導Ⅱ」と「保育実習Ⅲ」及び「保育実習指導Ⅲ」のいずれか3単位を必ず修得すること。
- 2) 「保育実習Ⅱ」及び「保育実習Ⅲ」の履修にあたっては、「保育実習Ⅰ」を履修していることを条件とします。

共通教育科目

本学における開講科目		開講時期			
		1年次		2年次	
授業科目名	単位数	前期	後期	前期	後期
◎ スポーツ	1	○			
◎ ウエルネス論	2		○		
◎ 英語リテラシー	1	○			
● 英語	1		○		
● 英会話Ⅰ	1	○			
● 英会話Ⅱ	1		○		
● 中国語Ⅰ	1	○			
● 中国語Ⅱ	1		○		
● 韓国語Ⅰ	1	○			
● 韓国語Ⅱ	1		○		
合計	5				

- 1) ◎は資格必修科目
- 2) ●の科目のうち、1科目1単位以上を履修すること。

②秘書士
資格認定証

総合生活デザイン学科の学生で秘書士資格認定証を取得しようとする者は、全国大学実務教育協会の「秘書士資格認定に関する規程」に定める所定の単位を修得しなければなりません。

秘書士の教育目標は、秘書実務の専門技能と社会人基礎力、自己管理能力の習得です。総合生活デザイン学科の共通専門科目のキャリアの学修を通じて達成を図ります。

次表に示す科目をすべて(16単位)履修してください。

本学における開講科目			開講時期			
			1年次		2年次	
授業科目名		単位数	前期	後期	前期	後期
専門教育科目	秘書学入門	2			○	
	秘書実務	2	○			
共通教育科目	情報リテラシー	1	○			
専門教育科目	SNSリテラシー	1	○			
	ビジネス実務基礎	2		○		
共通教育科目	キャリアデザイン入門	2		○		
	日本語リテラシー	1	○			
	英語リテラシー	1	○			
専門教育科目	プレゼンテーション	2		○		
	生活経営学	2				○
16単位						

③上級秘書士 資格認定証

総合生活デザイン学科の学生で上級秘書士資格認定証を取得しようとする者は、全国大学実務教育協会の「上級秘書士資格認定に関する規程」に定める所定の単位を修得しなければなりません。

上級秘書士の教育目標は、秘書に必要な専門的実務実践力を備え、課題発見・解決力の習得です。総合生活デザイン学科の共通専門科目のキャリアの学修を通じて達成を図ります。

次表に示す科目をすべて(24単位)履修してください。

本学における開講科目			開講時期			
			1年次		2年次	
授業科目名		単位数	前期	後期	前期	後期
専門教育科目	秘書学入門	2			○	
	秘書実務	2	○			
	秘書総合演習	2				○
共通教育科目	情報リテラシー	1	○			
専門教育科目	SNSリテラシー	1	○			
	ビジネス実務基礎	2		○		
	接遇演習	2			○	
	おもてなし論	2				○
共通教育科目	キャリアデザイン入門	2		○		
	日本語リテラシー	1	○			
	英語リテラシー	1	○			
専門教育科目	プレゼンテーション	2		○		
	社会調査	2		○		
	生活経営学	2				○
24単位						

④フードコーディネーター3級資格

総合生活デザイン学科の学生でフードコーディネーター3級資格を取得しようとする者は、日本フードコーディネーター協会の「フードコーディネーター養成カリキュラム」において認定を受けた所定の単位を修得しなければなりません。

フードコーディネーター3級の教育目標は、食に関する基本的・応用的、そして実践的な知識の習得です。総合生活デザイン学科の選択専門科目の食の分野の学修を通じて達成を図ります。

次表に示す科目をすべて(18単位)履修してください。

授業科目名	単位数	1年次		2年次	
		前期	後期	前期	後期
食生活論	2		○		
生活経営学	2				○
フードデザイン	2		○		
フードコーディネート	2				○
フードビジネストレンド	2			○	
食生活実習	1	○			
SNSリテラシー	1	○			
食品学	2			○	
栄養学	2		○		
フランス料理実習	2				○
合 計	18				